

角田市総合教育会議 会議要旨

会 議 名	令和7年度 第3回角田市総合教育会議
開 催 場 所	角田市役所 第2委員会室
開 催 日 時	令和8年1月16日（金）午後2時00分～3時00分
出 席 者	15名（別紙 出席者名簿のとおり）
事 務 局	総務部企画デジタル課
（次 第） 1. 開 会 2. 開会あいさつ（市長） 3. 協 議 （1）新中学校建設用地の適地選定について （2）職員定数条例の改正について 4. その他 5. 閉会あいさつ（教育長） 6. 閉 会	
（会議要旨） 3 協 議 （1）新中学校建設用地の適地選定について 説明者：齋藤教育次長 説明者から資料に基づき説明があった後、協議が行われた。（説明要旨省略） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 協議要旨 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・皆さまの意見として、旧角田女子高等学校に決定したことに、安堵している。ただ、ご指摘いただいた中に阿武隈川付近にあることから氾濫への不安や過去の災害被害について挙げられた。万が一そのようなことが起きた際には、すぐに対応できる環境づくりを見込んでいる。防災・減災の観点から、近くに高い建物がいないため一次避難ができる設計にすることや広い敷地を生かし、多くの市民の方々が利用可能な場所にしたいと考える。また、一番は、基本方針を踏まえてからの適地選定であったことと考えている。角田の子どもたちがどんな学びを自発的に行うのが大切である。 ・パブリックコメントを見てみると、東日本大震災時に遺体安置所であったことが未だに残っているのだと感じた。しかしながら、新中学校の適地については、他市町村在住の保育士の中でも話題に上がっている。新しい教育の場を新しい土地でつくるということは、よいスタートであると思う。 ・総合評価において、最も高い評価である旧角田女子高等学校に決定し安心している。学校内での安全は理解できたが、学校外での安全面について遠くの地域から通学されることが想定されるため、ぜひ通学路の街路灯の見直しを行っていただきたい。新しい場所で子どもたちにプラスになることができればよい。 ・防災について、海に近い学校は、外に螺旋階段が付いている。角田市でも付けられればとよいと思う。統合により子どもの人数が増加した分の職員や事務員の配置について、丁寧に進めていた 	

だきたい。クラスが多くなると、学級ごとに差が出やすくなるため、少なくとも最初は支援できる体制が必要である。

- ・地域住民から好意的な意見をいただいているということは、1つの安心材料であると思う。また、防災面について角田市では過去に堤防が決壊した記録はございませんと回答しているが、東日本大震災時に津波は想定外だったという声が上がったように、阿武隈川の堤防決壊も絶対に起きないとは言い切れないため、十分に考慮しながら地質調査等行ったうえで安全な学校を建てていただきたい。
- ・市民の方々の不安は沢山あると思う。ただ、総合的な評価から旧角田女子高等学校が適切な場所であると考えするため、不安や懸念材料については、丁寧に説明・対応を行いながら計画づくりを進めていきたい。
- ・角田市にとって新中学校の新設は、大きなプロジェクトである。これから整備基本計画に着手されるが、どのような学校にするのかあるいは学校周辺はどのようにしていくのか示されるようになる。適地が決まれば、より具体化された話合いが行われることとなるが、角田市の未来のために委員の皆さまには、よろしくお願いいたします。

(2) 職員定数条例の改正について

説明者：菊地人事係長

説明者から資料に基づき説明があった後、協議が行われた。(説明要旨省略)

協議要旨

- ・条例定数とは分かりやすくいうと何か。上限数か適正数なのか。

→上限数である。目指すべき数字ではない。

- ・教育委員会の事務部局の職員数80名は、以前の話であるという解釈でよいか。令和8年度の予定職員数45名は、場合によって増加することはあり得るのか。

→増やすことは可能である。しかしながら、角田市の市政や人口を客観的に見ながらそれに合わせて対応していただく形となる。ちなみに、幼稚園の廃止や小学校の統廃合等により30名近くの職員が減少している。

- ・職員定数については、何が適正なのか見極めながら進めていきたいと思う。

令和7年度 第3回角田市総合教育会議出席者名簿

○会議構成員（6名出席）

市長	黒須	貫
〔教育委員会〕		
教育長	永井	哲
教育委員会委員	毒島	弘美
教育委員会委員	大内	啓邦
教育委員会委員	平山	一恵
教育委員会委員	信濃	光男

○事務局関係（9名）

教育次長兼教育総務課長	齋藤	修
企画デジタル課長	木村	信幸
教育総務課課長補佐	目黒	知子
企画デジタル課課長補佐	大沼	寿宏
総務課主幹	玉渕	和紀
総務課人事係長	菊地	裕美
教育総務課総務係長	大野	悟
企画デジタル課企画調整係長	佐々木	愛子
企画デジタル課企画調整係主事	庄司	優梨
（敬称略・順不同）		